

カメラだより

刈谷での出来事を写真付きで紹介します。



寒空の下、熱い走り

総合運動公園 (2月8日)



約2,000人が参加したかきつばたマラソン大会。市制施行75周年を記念して、タレントの森脇健児さんをゲストに迎え、トヨタ紡織陸上部とともにマラソンクリニックを行いました。雪がちらつくほど冷え込みましたが、森脇さんのトークと参加者の熱い走りで大会は大盛り上がり。入賞や完走、自己ベスト更新など、それぞれの目標を持ってゴールを駆け抜け、一緒に走った家族や仲間と健闘をたたえ合いました。

ボール遊びって楽しいな!

富士松北幼稚園 (3月4日)



プレイヴキングス刈谷の選手たちが、ボールを使った遊びで年中児と交流しました。子どもたちは、上に投げたボールを落とさないようにキャッチしたり、動かかごに投げ入れたりする遊びを通して楽しみながら体を動かし、ボールに親しみました。

相手チームの陣地に多くのボールを投げ入れるゲームでは、作戦会議をして「えいえいおー!」と気合を入れる姿も。勝利が決まると、歓声を上げて喜んでいました。

消防団活動 1年の総決算

総合運動公園 (3月8日)



市消防団や民間企業の特設自衛消防隊が一堂に会する観閲式。来賓や親子連れなど、たくさんの観客に見守られながら、消防団活動で成績が優秀だった分団などの表彰、分列行進や一斉放水などが行われました。消防団長は「多様化する災害に備えるため、より実践的な訓練を積極的に取り入れ、これからも信頼される消防団として最善の努力をまいります」と活動への決意を述べました。

シロマチジカン

刈谷市駅周辺 (3月8日)



城・まち刈谷デザイン会議で描いた理想のまちの姿を、試しながら具体化し、検証する社会実験イベントを行いました。参加者は、餅つき体験をしたり、駅の改札前通路に設置されたおもちゃで遊んだり、まちづくりトークを聞いたり、それぞれの過ごし方で楽しみました。普段とは異なる過ごし方をすることで、まちなかが「通り過ぎる場所」から「過ごせる場所」に変わり、まちの良さを再発見するきっかけになりました。